

～三重県に生まれ育つすべての子どもに途切れのない支援を～

THE 市町支援通信



あすなろ学園市町支援グループでは、
「途切れのない支援システム」の構築を協働支援します

三重県に生まれ育つすべての子どもの発達保障・子育て支援を目指し、あすなろ学園は多くの市町と協働しながら、以下の取り組みを進めています。

- ① 発達総合支援室（保健・福祉・教育の一元化室）の設置
- ② みえ発達障がい支援システムアドバイザーの配置されている市町への支援
・市町の療育システムの構築 ・発達チェック、個別の指導計画の普及定着
- ③ みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成支援

途切れのない支援を目指して

～4年目の市町支援グループ～

三重県こども局とあすなろ学園は、平成19年度より、厚生労働省の3年間のモデル事業を受けて、発達障がい児に対する「途切れのない支援システムの構築」に取り組んできました。今年度も引き続き、次世代育成施策の一環として、三重県に生まれ育つ子どもの発達支援を、こどもの発達総合支援室市町支援グループを中心に推進します。

① 発達総合支援室（保健・福祉・教育の一元化室）の設置

既設置：8市町

既設置は8市町（桑名市、いなべ市、鈴鹿市、亀山市、伊賀市、津市、玉城町、志摩市）です。平成22年度に、鈴鹿市が「子ども家庭支援室」を設置、亀山市が「子ども総合支援室」から「子ども総合センター」へと子ども支援の更なる充実を図りバージョンアップしました。

② みえ発達障がい支援システムアドバイザーの配置されている市町への支援

- ・市町の療育システムの構築
- ・「3歳児発達チェック」「5歳児発達チェック」「個別の指導計画」の普及定着の支援

「発達チェック」「個別の指導計画」の巡回指導は、25市町のべ346園880ケース行いました。今年度は、みえ発達障がい支援システムアドバイザーの配置されている市町を中心に、療育システムの構築や「発達チェック」「個別の指導計画」の普及定着を支援します。

③ みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成支援

市町で活躍する「みえ発達障がい支援システムアドバイザー」は10市町21名です。

（木曾岬町、いなべ市、川越町、鈴鹿市、名張市、亀山市、津市、松阪市、鳥羽市、志摩市）

保育士：11名 保健師：4名 教員：6名

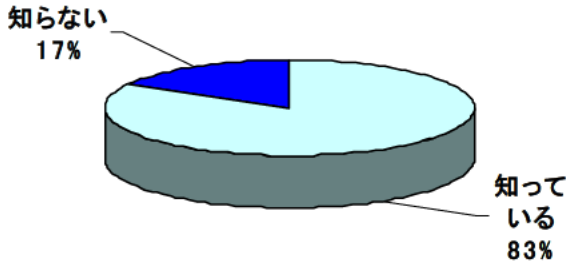
今年度の研修者は、新規6市町、継続派遣1市町、複数派遣1市町、計8市町9名です。

（桑名市、朝日町、名張市、玉城町、多気町、明和町、鳥羽市、南伊勢町）

アンケート調査報告

平成 21 年度、県内 29 市町すべての公立・私立保育所、幼稚園（669 園）を対象に、「支援システムの構築」「システムアドバイザーの配置」「発達チェックリスト（CLM）・個別の指導計画の活用」等の項目について、アンケート調査をお願いしました。多数のご意見、ご協力ありがとうございました。

途切れのない発達総合支援室のシステムを知っていますか

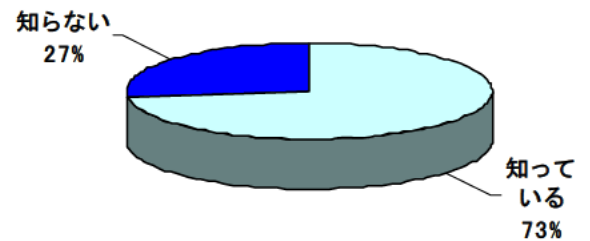


自由記載より ～現場の声～

- ・我が町も各機関がつながりを持ってほしい。
- ・日常的なやりとりと、早期対応をしてもらえる。
- ・保護者も、保育士も相談しやすい。

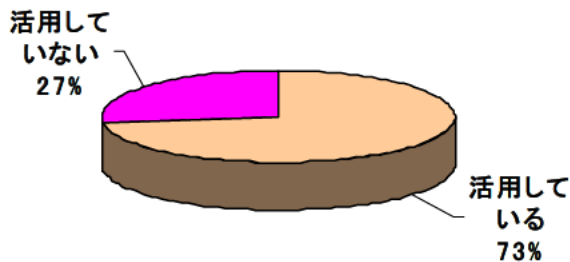
- ・安心して相談でき、適切な指導が受けられる。
- ・支援の手立てが具体的でわかりやすい。
- ・手探りで指導している園や担任はとも助かる。
- ・保護者支援をしてもらい、担任と保護者との関係がよくなった。

みえ発達障がい支援システムアドバイザーを知っていますか



- ・困り感が発見でき、役に立っている。
- ・子どもの支援を必要としている部分がよくわかった。
- ・保育園の生活や遊びの中で、取り組みやすい。
- ・保育士のスキルアップになった。

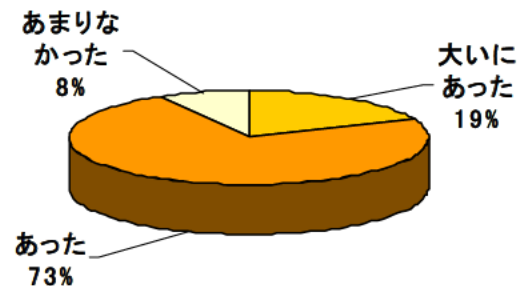
発達チェックリスト（CLM）を活用していますか



* CLMとは、気になる子の早期支援のための発達チェックリストとして、三重県が開発した「チェック（C）リスト（L）イン三重（M）」の略。

- ・具体的な目標によって、支援が明確になった。
- ・職員間がかかわり方の共通理解ができた。
- ・自信を持って保育できるようになった。
- ・子どもの支援がうまくいくと、保護者との関係がよくなると実感した。

個別の指導計画の活用効果がありましたか



対象：三重県全域の公立・私立保育園、幼稚園

445 / 669 園 回収率：67%

わがまちの 日々活躍！ アドバイザー

平成21年度末に、みえ発達障がい支援システムアドバイザーは21名となりました。今回は、木曾岬町の保健師さん（アドバイザー）の取り組みを紹介します。

木曾岬町からスタート

改訂版 C L M 個別の指導計画作成 検討会 開催

今年度、あすなる学園では、発達チェック（CLM）を活用して幼児期の個別の指導計画をより立てやすくリニューアルしました。この改訂版を用いて、木曾岬町では、町内の幼保園を巡回し、個別の指導計画作成を推進しています。三重県で初めて開催された検討会（5月18日）の様子を報告します。三重県の途切れない支援の取り組みが注目を集め、岐阜県からも見学に来られました。

<内容>

10:00~12:00 発達チェックの実施

- ・自由あそび、いすとりゲーム、給食

13:00~15:00 個別の指導計画作成検討会

- ①観察チェックの結果を集計
- ②子どもの姿を共有
- ③課題の絞り込み
- ④個別の指導計画の立案

<参加者> 保健師、教育委員会担当者、福祉行政担当者、子育て支援センターの保育士、園長、担任、園内の保育士、他園の保育士、あすなる学園職員

複数人が保育場面や日常生活の中で観察します。



関係者や町内の保育士も参加しました。

子どもの困り感に沿った
毎日の保育の中で担任が取り組みやすい
具体的な支援方法を・・・

<担任の先生より>

- ・個別の指導計画に、何を書いたらよいか分かりやすくなった。
- ・子どものチェックをするという雰囲気ではなく、日々の様子を温かな目で見てもらった。
- ・保健師さんに、クラスに入ってもらって、様子を見てもらったのがよかった。
- ・園長先生が、保育の場面を頻繁に見に来てもらって、園全体で取り組んでいると感じた。
- ・担任が一人で計画するのではなく、一緒に見て考えてもらえるので、不安や負担が減った。

<保健師さんより>

- ・保健、福祉、教育の関係者が集まって取り組むことで、システムづくりを推進したい。
- ・4~5歳の子どもは就学につながるので、教育委員会の方にも共通認識してもらえる機会となった。
- ・担任の先生が“やってみよう”と思える取り組みやすい具体的な支援方法を一緒に考えていきたい。

～途切れのない支援システムを我が市町に～

あすなろ学園の1年間の研修で、子どもの困り感や現場の保育士の悩みに
応えられるように、専門知識と技術をしっかりと身につけていきたいです。

ア あすなろへ 車走らせ はるぼると
ド どっかいと 市町の使命 肩に乗せ
バ バックには 専門書詰め 持ち帰る(だけ?)
イ 一年後 目指せ 立派な アドバイザー
ザ The ⁹ 元気いっぱい 頑張ります

研修川柳
～決意編～

平成22年度 研修者一同



インフォメーション

・あすなろ学園 講演会・シンポジウム

「これからの地域子育て支援を考える～地域での具体的支援を学ぶ～」

- ・日時：平成22年8月5日(木) 9:30 開場
- ・会場：三重県総合文化センター(県文化会館)中ホール
- ・プログラム：第一部 10:00～ 講演会「子どものこころの発達～大人になるということ～」
講師：山崎 透 氏(静岡県立こども病院こどもと家族のこころの診療センター長)
- 第二部 13:00～ シンポジウム
シンポジスト：小西 喜朗 氏(滋賀大学教育学部附属特別支援学校 副校長)
志村 浩二 氏(亀山市健康福祉部子ども総合センター 専門監)
谷 礼子 氏(志摩市健康福祉部ふくし総合支援室 保育士)

*詳細は、あすなろ学園ホームページで(7月上旬)お知らせします。

・2010 ザ・夏 途切れのない発達支援研修会

「幼児期の個別の指導計画の立て方 ～途切れのない支援を市町で実現する～」

- ・日時：8月23日(月)、24日(火)、25日(水)の3日間 午後
- ・会場：あすなろ学園 診療本館2階 大会議室
- ・対象：保育士、教員(幼稚園、小学校等)、関係行政職員(保健、福祉、教育)

*詳細は、後日、市町窓口担当者を通じて、ご案内いたします。



2010年 5月25日

<発行>三重県立こども心療センター あすなろ学園 広報担当：こどもの発達総合支援室 市町支援グループ
〒514-0818 三重県津市城山1-12-3 TEL:059-234-8700 FAX:059-234-9361
MAIL: asunaro@pref.mie.jp URL: http://www.pref.mie.jp/ASUNARO/HP/